

# ○ バクモンドウ (麦門冬)



## 語源

ジャノヒゲ属の *Ophiopogon* は、和名「ジャノヒゲ」の直訳で、ギリシャ語のオフィス「蛇」+ポーゴーン「ヒゲ」から来ている。葉の形を蛇のヒゲに例えたものだが、蛇にヒゲはないので、蛇とは竜のことを指しているとされる。実際にジャノヒゲは、別名ではリュウノヒゲとも呼ばれている。

## 基原

ジャノヒゲ *Ophiopogon japonicus*  
ユリ科 多年草

## 薬用部分

塊根・塊茎  
ジャノヒゲのひげ根の一部に、紡錘形に膨らんだところがあり、これを薬用にする。

## 産地

中国、韓国、日本

## 主な薬効

鎮咳、去痰、鎮静、消炎、利尿、滋養、強壮

## 主な成分

ステロイド配糖体： オフィオポゴニンA~D  
ホモイソフラボノイド： オフィオポゴノン  
A, B、メチルオフィオポゴノンA, B、オフィオポゴナノンA など  
ステロール：  $\beta$ -シトステロール、スチグマステロール、 $\beta$ -シトステロールグルコシド



## 代表的処方

補陰・潤肺・止咳の効能があり、乾燥性咳嗽、粘稠痰、口渇、便秘、咯血、煩躁、動悸、不安感などに用いる。麦門冬は滋陰薬のひとつであり、虚熱の咳嗽や陰虚症状に用いる。天門冬と効能がよく似ており、しばしば併用されて「二冬」と称されることもある。

### 【麦門冬湯】

バクモンドウトウ  
体力が弱く、痰の切れにくい咳・空咳・咽喉乾燥・皮膚乾燥・のぼせ症・声がれがあり、胸熱がないものの次の諸症に用いる：気管支炎、気管支喘息、喉頭結核、肺結核、百日咳、妊娠咳などの諸咳  
(処方内容) 麦門冬/大棗/半夏/人参/粳米/甘草

### 【辛夷清肺湯】

シンイセイハイトウ  
鼻づまり、慢性鼻炎、蓄膿症に用いる。  
(処方内容) 辛夷/麦門冬/知母/石膏/百合/升麻/オウゴン/枇杷葉/山梔子

### 【清暑益気湯】

セイショエツキトウ  
暑気あたり、暑さによる食欲不振、下痢、全身倦怠、夏痩せに用いる。  
(処方内容) 人参/陳皮/朮/五味子/麦門冬/黄柏/当帰/甘草/黄耆

## 文献報告

### 【抗炎症】

Homoisoflavonoid derivatives from the roots of *Ophiopogon japonicus* and their in vitro anti-inflammation activity.

Bioorg Med Chem Lett. 2010, 20, 2412-6

### 【抗血栓】

Antithrombotic activities of aqueous extract from Radix *Ophiopogon japonicus* and its two constituents.

Biol Pharm Bull. 2006, 29, 1267-70

※参考文献：「生薬単」「漢方マニュアル」「漢方のくすりの事典」「和漢薬の事典」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562

URL: www.fukudaryu.co.jp